

(様式2)

### 3. 事後評価の実施

#### (1) 実施時期

令和元年7月

#### (2) 評価の方法

施設整備計画の計画期間の終了後、教育委員会内において事後評価を行う。その評価結果をホームページで公表する。

### 4. 総合的な所見

施設整備計画に掲げた事業については、おおむね計画どおりに実施することができた。特に、防災機能強化事業を実施したことで、非構造部材についての耐震化、また外壁の剥落を防止したことで教育環境の安全が確保できたと言える。しかし、追加した地震防災対策事業については、自主財源の確保ができず断念したが、耐震化率100%に向け計画的に実施したい。相川小学校の改築事業、河崎小学校の統合改修の実施により教育環境の質的な向上が図られたと言える。

### 5. 各目標の達成状況

#### (1) 公立の義務教育諸学校等施設の老朽化対策を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(2) 地震、津波等の災害に備えるための整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

加茂小学校及び赤泊中学校の屋内運動場について、防災機能強化事業を実施し非構造部材の耐震化を図ることができた。また、さわた幼稚園園舎の大規模改造(補強)を実施したことにより、施設の質的な整備及び老朽化対策を図ることができた。  
高千小学校について、外壁改修を実施することにより、外壁の爆裂等による剥落の危険を防止することができた。  
計画期間途中で八幡小学校校舎棟の地震防災対策事業を追加したが、自主財源の確保ができず実施できなかった。今後、八幡小学校校舎棟及び体育館棟について、計画的に耐震化を図り、耐震化率を100%にする。

(3) 防犯対策など安全性の確保を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

(4) 教育環境の質的な向上を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

相川小学校改築事業において、校舎棟、屋内運動場の整備に引き続き、旧体育館を取り壊し水泳プール(屋外)の新設及びグラウンドを整備することにより屋外の教育環境についても質的な向上を図ることができた。  
また、河崎小学校校舎棟・体育館棟の統合改修を実施したことにより、施設の質的な整備及び老朽化対策を図ることができた。

(5) 施設の特性に配慮した教育環境の充実を図る整備

【目標の達成状況】 目標を達成した / 達成できなかった

【所見】

6. 改築後の危険建物等のとりこわし状況

相川小学校の旧体育館棟は、計画期間中にとりこわしを完了した。

(様式3)

7. 事業ごとの実施状況

学校等の名称	目標	事業区分	整備方針				事業完了年月日	(実施しなかった場合) 未実施の理由・今後の対応予定等	備考 (改築事業は、旧施設の とりこわし時期を明記)
			事業単位	建物区分	構造区分	全事業期間 (契約～完成)			
加茂小学校	(2)	36	防災機能強化	屋	-	H28.6～H28.10	H28.10.12		
赤泊中学校	(2)	36	防災機能強化	屋	-	H28.6～H28.11	H28.10.27		
河崎小学校	(4)	08	統合(改修)	校	R	H28.6～H29.3	H29.3.30		
河崎小学校	(4)	08	統合(改修)	屋	S	H28.6～H29.3	H29.3.30		
さわた幼稚園	(2)	05	大規模改造(補強)	園	W	H28.7～H29.3	H29.3.31		
相川小学校(期工事)	(1)	01	危険改築	-	R S	H28.6～H28.10	H28.10.25		H28.10.25とりこわし完了
相川小学校(期工事)	(4)	29	学校水泳プール(屋外)	-	R	H28.9～H29.9	H30.3.30		工期延長あり
相川小学校(期工事)	(4)	29	学校水泳プール(屋外)	-	R				
相川小学校(期工事)	(4)	09	屋外教育環境	-	-	H28.8～H30.3	H30.3.30		
相川小学校(期工事)	(4)	09	屋外教育環境	-	-				
高千小学校	(2)	36	防災機能強化	校	-	H28.6～H28.11	H28.12.1		単独事業で実施
八幡小学校	(2)	05	地震補強	校	R	H30.3～H30.3	未実施		財源を確保できず取り下げ。R1で実施。